



遠軽町図書館 42-3632

NO. 149
2月19日号

新着速報



『愛しいチグサ』 島田 荘司

- ・西暦2091年、謝荷魚は大事故により身体と脳の一部が機械になってしまふ。胸を焦がす、落涙の純愛ミステリ。

クアッドツー 『2222』 大山 淳子

- ・人気SF「2222」の作者・風乃夕はコミュ症&ひきこもり漫画家。キュートで心温まるSF転生物語。

『桜葬』 齋堂 琴湖

- ・男は、駅のホームからバラバラ死体を線路に投げ、札束をばらまき、微笑を浮かべて自ら電車で飛び込んだ。

『最後の答えは、きっと暮らしの中にある。』 一田 憲子

- ・「とりあえずのってみれば、“怖がり虫”は消えていく」「目に見えないことでも、信じてコツコツ続ける」…。

『世界のはじまりの神話学』

松村 一男

- ・世界はどのようににはじまったのか。人類は、原初の疑問や経験を、神話として語り継いできた。

『城下町江戸の町人地』

高山 慶子

- ・近世最大の城下町江戸の商人や職人の居住区であった町人地について、制度や仕組、構造の特徴を明らかにする。

『闘病記の社会史』 門林 道子

- ・闘病という言葉の登場から歴史をたどり、人々の生き方や死生観、社会と医療の関係性、医療のあり方を考察。

『いま知りたいお米と農家の話』

農山漁村文化協会

- ・「令和の米騒動」を振り返り、農家農村の実情を伝えるとともに、農家が農業を続けられるしくみなどを考察。

『修羅場の王』 大西 康之

- ・稲盛和夫と並ぶJAL再生のもう一人の立役者、瀬戸英雄。わずか142日でJALを倒産させ、復活への道を拓いた。

『正しすぎた人』 長谷川 晶一

- ・1978年、ヤクルトスワローズが叶えた「奇跡の日本一」。“冷酷な監督”は弱小球団をどう変えたのか

『親子で楽しむほぼ無添加レシピ』

濱村 圭